



ステパノ会だより

2012年4月号 2012.3.25発行



一わたしたちの願い

わたしたちステパノ会は、子どもたちが、神さまの大きな愛に触れ、その中で、「いのち」の尊さを知って、いつも、人を大切に想うことができる人へと育てていくための助け手になりたいと願っています。

日本聖公会東京教区 三光教会 ステパノ会

「終わりから始まる」

司祭 ニコラス中川英樹

「あなたがた皆の中で最も小さい者こそ、最も偉い者である。」(ルカ9:48)

聖書には、ボクたちには不思議に想えることがたくさん書かれています。たとえば、貧しい人は幸いである、とか、後の者が先になるとか、弱いことが強いことであるとか、最も小さい者が最も偉い者といわれたり、終わりが始まりであるとか。ボクたちからすれば、弱いより強い方が良く、先を行く者が先にゴールするのは当然なことだし、小さいことよりも大きなことの方が大切に想えます。でも、聖書ではすべてが「あべこべ」なのです。そこで、何で聖書はそうなんだろうって考えてみた……。すると、そこには、弱いより強いことが、小さいことよりも大きなことが大切とされる中で、弱い人のこと、小さい人のことを、その気持ちを、想いを想像してごらんという神さまのメッセージが詰まっているように想えてきました。人への想像力を持つことはとても大切なことです。こういったら相手はどう感じるだろうか、こうしたら相手はどんな気持ちになるだろうか。そんな人への想像力を持てる人になりたいと心から願います。

春は別れの季節でもあり、出会いの季節でもあります。悲しい別れもあるし、逆に、新しい出会いに心がウキウキすることもある。気の合う仲間であれば、ちよつと苦手な人も居たりする。そんなとき、人への想像力を働かせてみて！。相手のことを心から想うとき、今までとは「反対(あべこべ)」な見方ができる筈。イエスさまもそうやって人と関わりながら、多くの人を仲間にしたのでした。

4月の予定

- 4月 1日(日): シュロの枝の日曜日①、誕生感謝の祈り②
- 4月 8日(日): イースター礼拝と祝会③
- 4月 15日(日): バイブルクラス④
- 4月 22日(日): ローソクづくり⑤
- 4月 29日(日): 大人と一緒にの礼拝⑥

- ①主イエス様のエルサレム入城を記念して、シュロの枝の分与をいたします。
- ②毎月第1の日曜日には、その月にお誕生日を迎える人のことを覚えて、お祈りを献げています
- ③イースターの礼拝です。この日は10時30分からの聖餐式に合同しますので、9時からのステパノ会の礼拝はありません。礼拝の中で聖歌の奉唱がありませんので、10時に教会にお集まりください。また、イースター献金と大斎克己献金をお献げください。礼拝後の祝会では「たまご探し」など楽しいプログラムの用意がございます。ご家族みなさんでご参加ください。
- ④礼拝の後の約30分位、共に聖書を読むときを持ちます。今は、イエス様が生きた時代のパレスチナの大きな地図を一緒につくって、そこに、イエスさまの旅の跡や行われたこと、言葉を記しています。
- ⑤ステパノ会の礼拝で使う「ローソク」をみんなで作ったらと、今、考え準備をしています。
- ⑥この日は10時30分からの聖餐式に合同しますが、9時からのステパノ会の礼拝もございます。



■ルカによる福音書 24:1-8

そして、週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。見ると、石が墓のわきに転がしてあり、中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。そのため途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人がそばに現れた。婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出しなさい。人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」そこで、婦人たちはイエスの言葉を思い出した。

高橋宏幸司祭は、3月31日をもって、三光教会での責務を解かれます。4月からは協力司祭という立場で、三光教会の礼拝にてご奉仕いただきますが、日曜学校でのお交わりは3月で一端区切りとなります。今まで、毎週の日曜日、みんなの頭を手を置いて、祝福を祈ってくださいましたこと、感謝です。

イエス様のこと、教会について、もっと知りたいことがあったり、悲しくて、苦しくてどうしようもない気持ちになったときは、いつでも教会の先生たちにお話ししてみてください。

ステパノ会の先生たち

◆教師(コアスタッフ): 安部信夫、有賀寿秋、根田栄子、藤田誠、松崎尚美、松野恵美、頼甲子、司祭 中川英樹(副牧師)、司祭 高橋宏幸(管理牧師)

◆サポートスタッフ: 大久保郁子、今野久美子、田邊加奈子、鍋島和幸、橋本 泉